



千葉県山武市 地域動向分析

山武市商工会

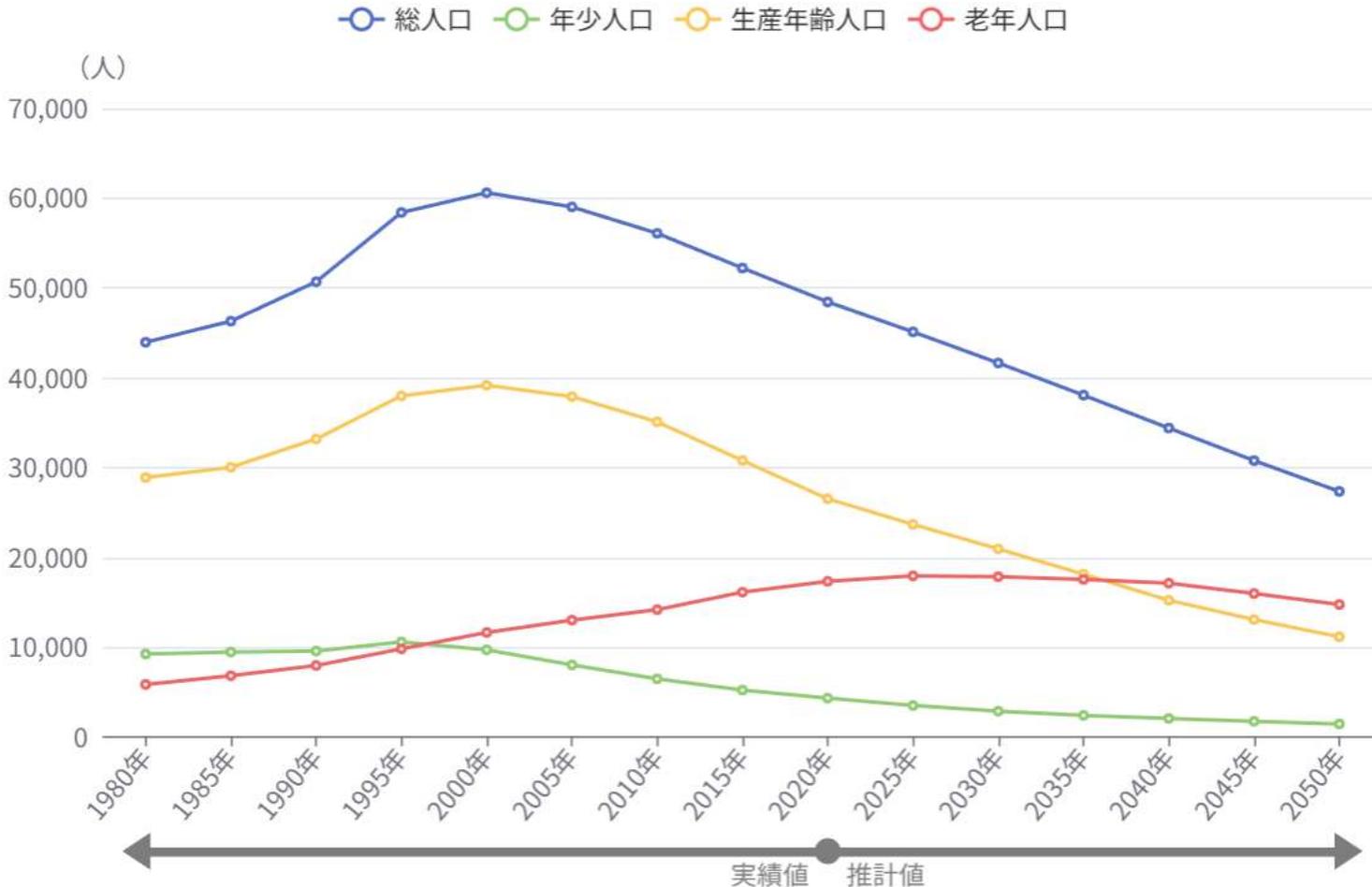
はじめに

山武市において、真に稼げる産業や事業者に対し、限られたマンパワーや政策資源を集中投資し、効率的な経済活性化を目指すため、経営指導員等が「RESAS」（地域動向分析システム）を活用した地域の経済動向分析を行いました。

具体的には、地域経済循環マップ・生産分析において、何で稼いでいるか等を分析、「まちづくりマップ・From to 分析」において人の動き等を分析するなど様々な分析を総合的に活用し、事業計画策定支援等に反映していきます。

①人口

- ・2020年の山武市の総人口は、48,444人である。10年前となる2010年の56,089人と比較して13.6%減少している。今後は減少が続く見込みである。
- ・年齢別の傾向を見ると、老年人口は2010年14,177人と比較し、2020年は17,329人であり増加している。また、生産年齢人口は、2010年は35,086人と比較し、2020年は26,518人であり、24.4%減少している。

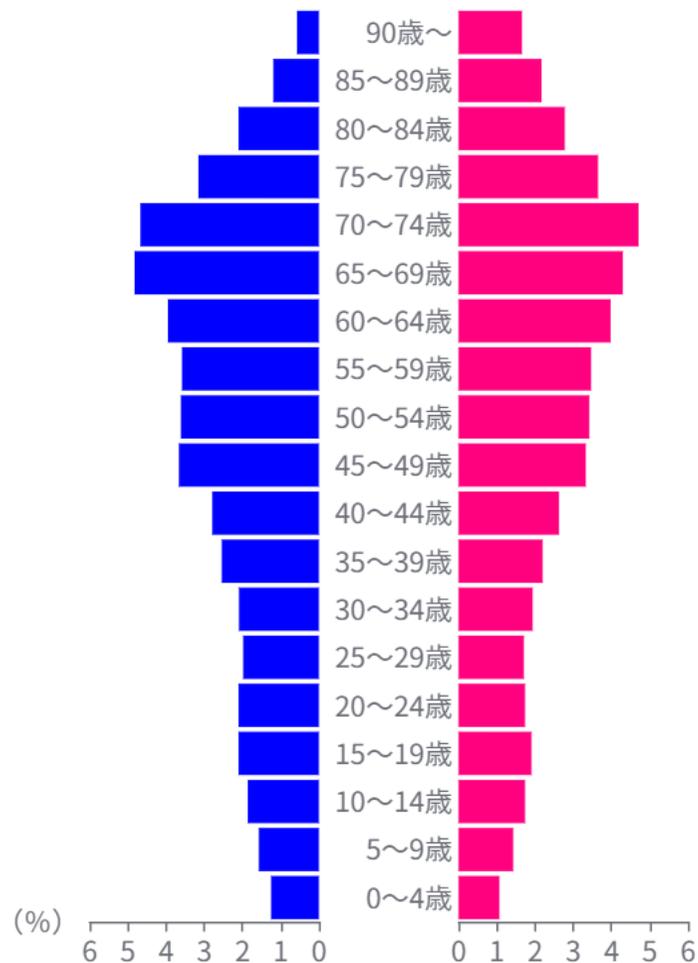


②人口ピラミッド

人口ピラミッドでは、65歳～74歳にピークがある。2040年には、男女とも65歳以下の人口が更に減り、65歳以上で増加する。特に男女とも、75歳以上人口の増加が著しい。
 男性の最多年齢は60代後半だが、女性の最多年齢は60代後半から90代まで、幅広く分布する。

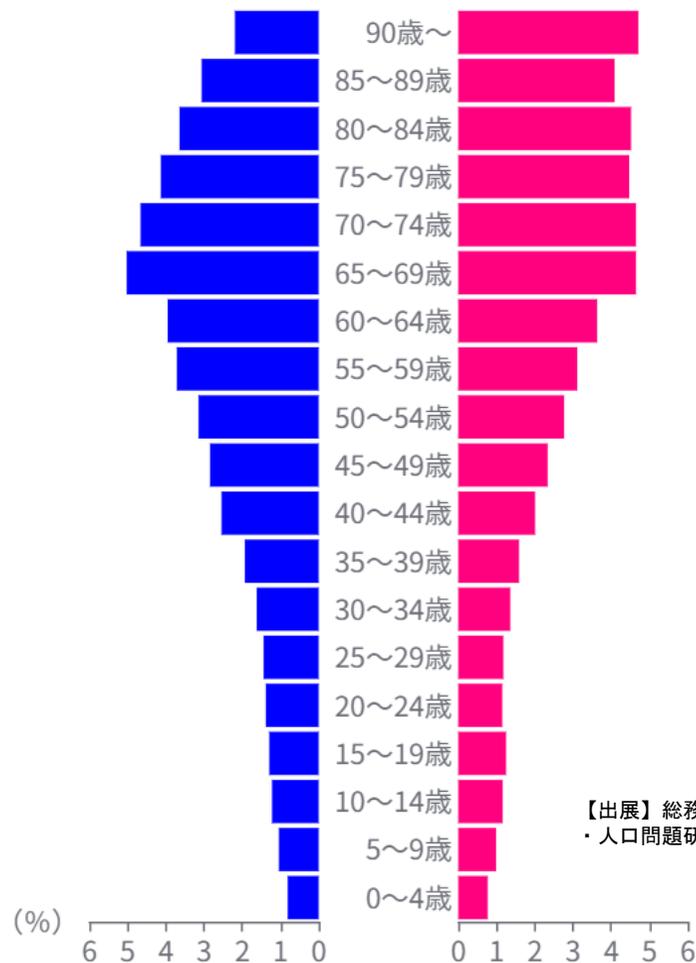
2020年

■ 男性 ■ 女性



2040年

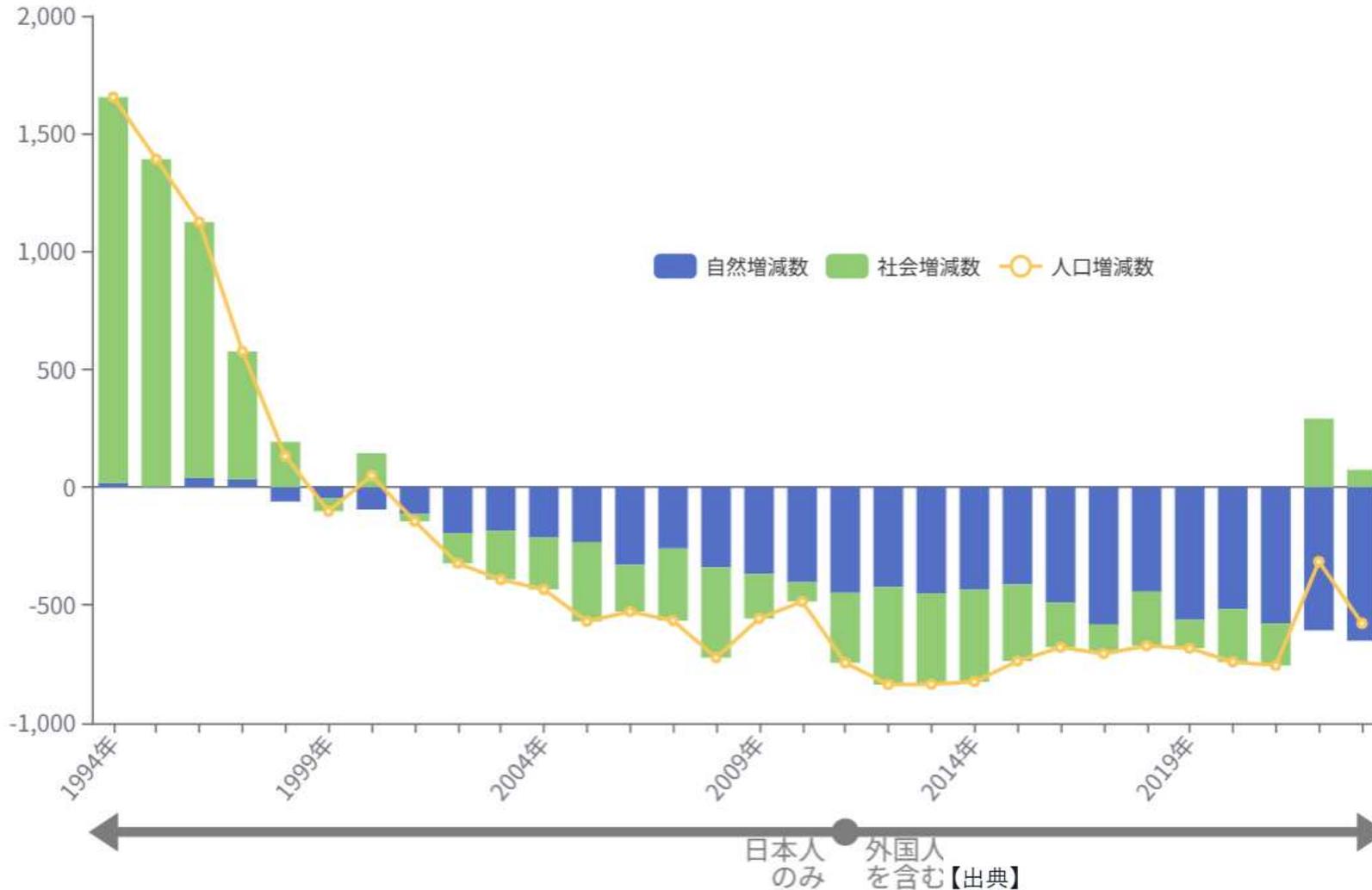
■ 男性 ■ 女性



【出展】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

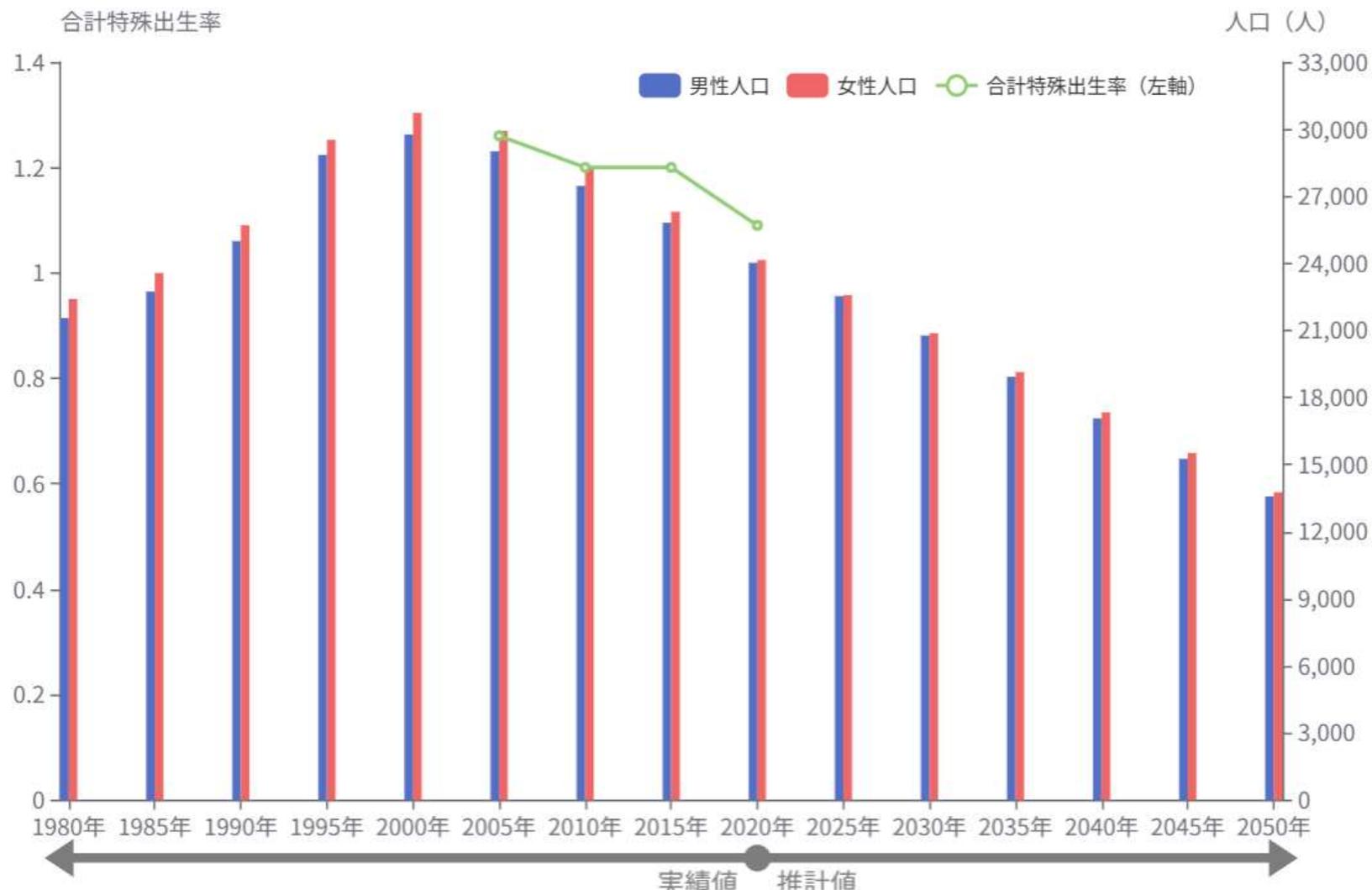
③ 自然増減・社会増減の推移

直近の社会増減数はプラスの方向であるが、自然増減数は長期的にマイナス傾向である。それに伴い、人口増減数は長期的に減少し、減少幅は拡大していく傾向である。



⑤男女別人口・合計特殊出生率の推移

2050年には、男女とも13,000人代となる予測。

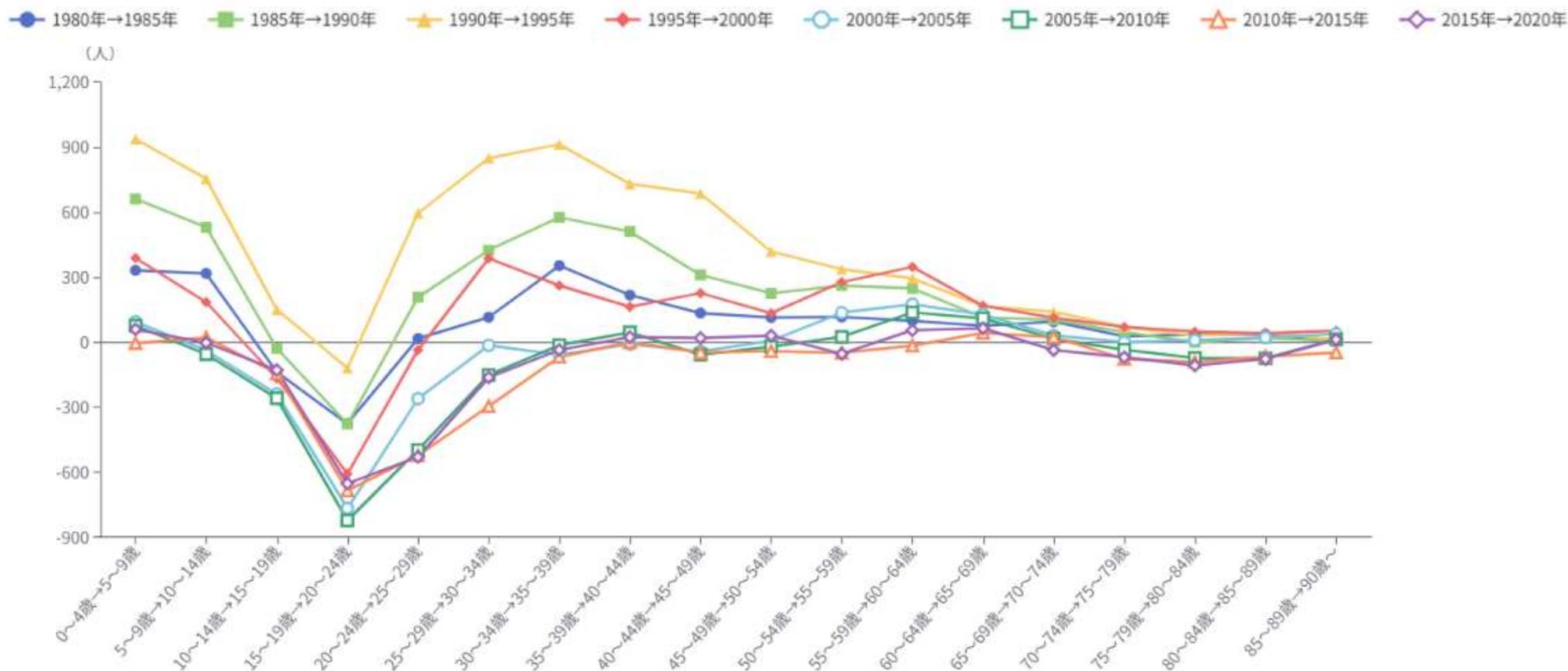


【出典】

総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

⑥ 年齢階級別純稼働数の時系列推移

年齢階級別純稼働数の状況を見ると、15歳から24歳の転出が多く、転出数も経年で増加傾向にある。25歳以上は、過去は転入数>転出数であったが、2000年以降は、30歳までは転出超過であり、それ以上の年齢でもほぼ増減0。

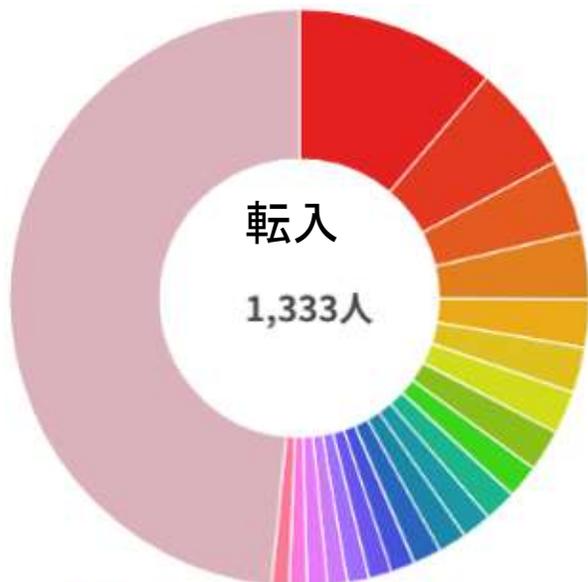


【出典】

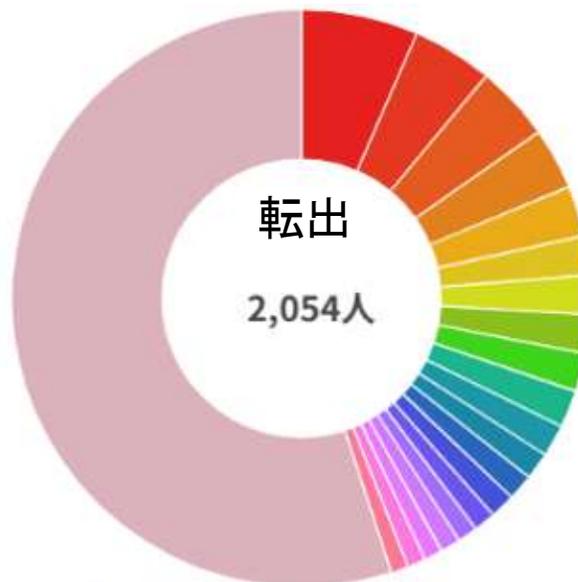
総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきデジタル田園都市国家構想実現会議事務局作成

⑦ 転入数・転出数の上位地域

転入・転出とも、隣接の東金市、八街市、成田市、横芝光町が多い。



- 1位 千葉県東金市 149人 (11.18%)
- 2位 千葉県八街市 80人 (6.00%)
- 3位 千葉県成田市 55人 (4.13%)
- 4位 千葉県横芝光町 50人 (3.75%)
- 5位 千葉県船橋市 36人 (2.70%)
- 6位 千葉県富里市 34人 (2.55%)
- 7位 千葉県千葉市緑区 32人 (2.40%)
- 8位 千葉県市原市 31人 (2.33%)
- 9位 千葉県匝瑳市 25人 (1.88%)
- 10位 千葉県千葉市中央区 24人 (1.80%)

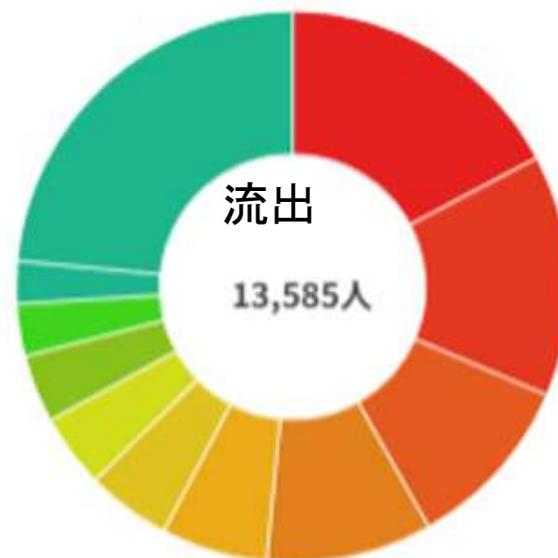
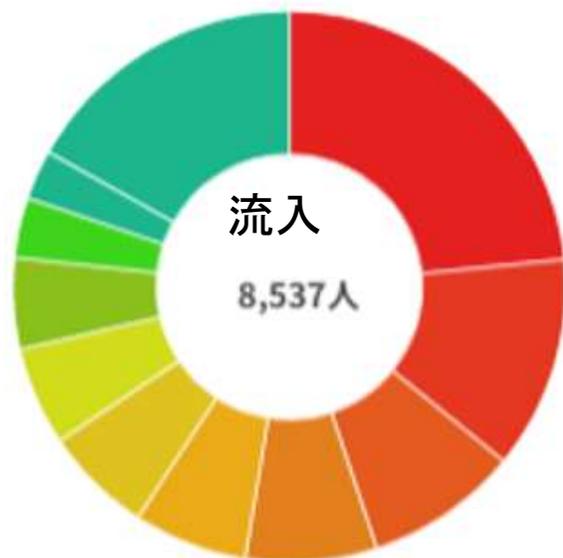


- 1位 千葉県東金市 134人 (6.52%)
- 2位 千葉県八街市 92人 (4.48%)
- 3位 千葉県成田市 87人 (4.24%)
- 4位 千葉県横芝光町 71人 (3.46%)
- 5位 千葉県千葉市中央区 58人 (2.82%)
- 6位 埼玉県久喜市 45人 (2.19%)
- 7位 千葉県千葉市若葉区 45人 (2.19%)
- 8位 千葉県船橋市 45人 (2.19%)
- 9位 千葉県市川市 44人 (2.14%)
- 10位 千葉県富里市 43人 (2.09%)

【出典】
総務省「住民基本台帳人口移動報告」

⑧ 流入者数・流出者数の上位地域

流入と流出では、千葉市まで含めた広範囲の移動となるが、流入<流出となっている。



- 1位 千葉県東金市 1,999人 (23.42%)
- 2位 千葉県横芝光町 1,065人 (12.48%)
- 3位 千葉県八街市 767人 (8.98%)
- 4位 千葉県匝瑺市 656人 (7.68%)
- 5位 千葉県千葉市 570人 (6.68%)
- 6位 千葉県大網白里市 542人 (6.35%)
- 7位 千葉県九十九里町 494人 (5.79%)
- 8位 千葉県旭市 456人 (5.34%)
- 9位 千葉県成田市 301人 (3.53%)

- 1位 千葉県東金市 2,344人 (17.25%)
- 2位 千葉県千葉市 1,926人 (14.18%)
- 3位 千葉県八街市 1,410人 (10.38%)
- 4位 千葉県成田市 1,317人 (9.69%)
- 5位 千葉県横芝光町 843人 (6.21%)
- 6位 千葉県芝山町 672人 (4.95%)
- 7位 千葉県佐倉市 586人 (4.31%)
- 8位 千葉県富里市 542人 (3.99%)
- 9位 千葉県匝瑺市 416人 (3.06%)

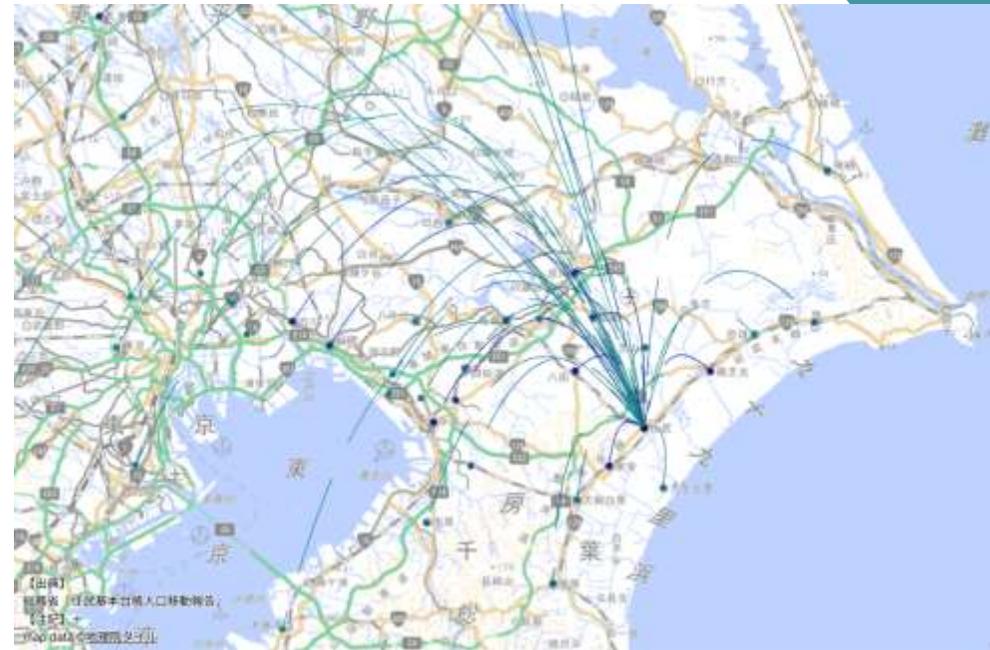
【出典】
総務省「住民基本台帳人口移動報告」

⑨山武市のfrom-to分析（滞在人口）

山武市を訪れる人は比較的近隣からが多いが、山武市から訪れる先は、広く南関東全域となる。



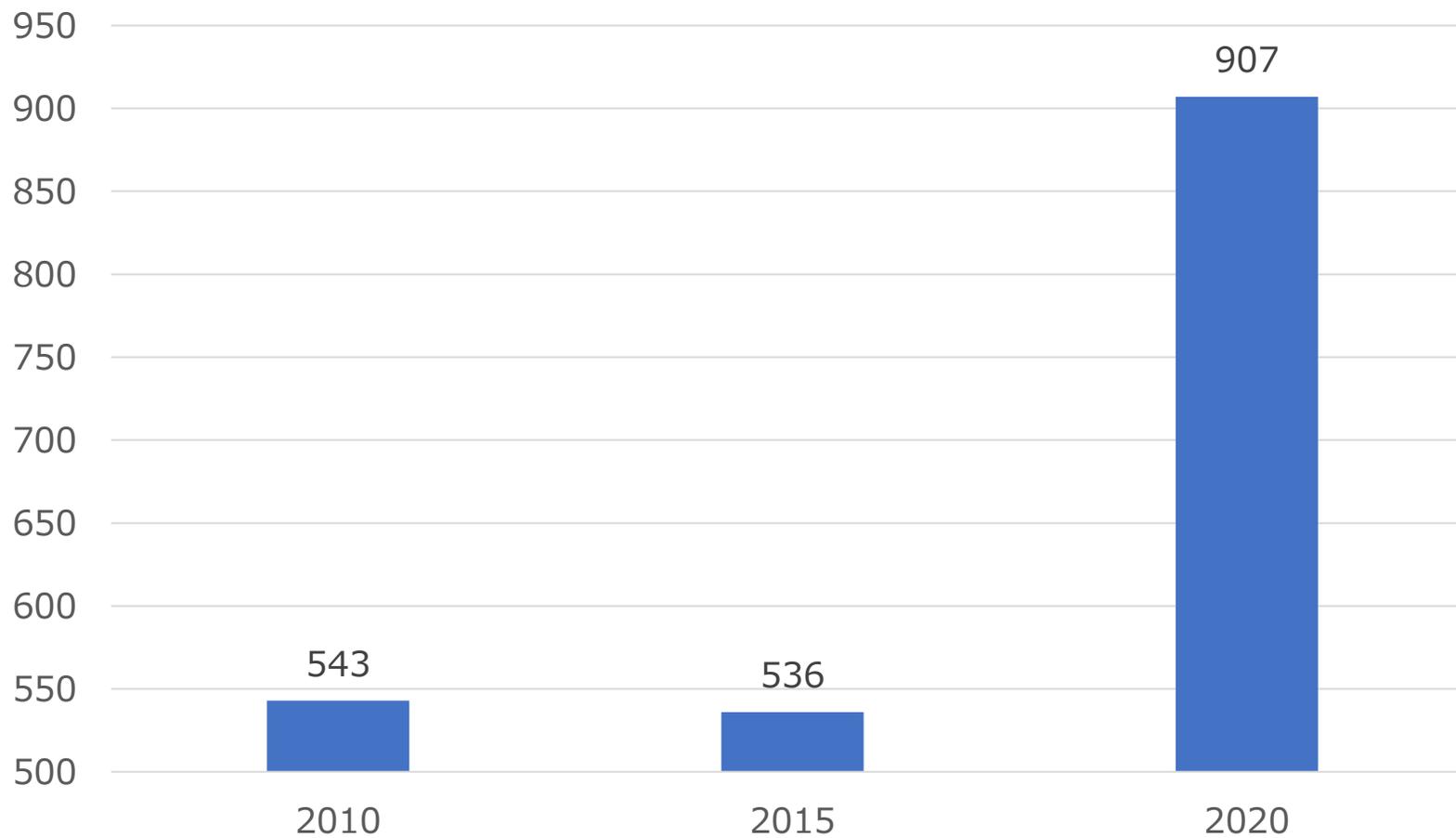
From
近隣の市町村からの訪問が多い



To
広く関東全域を訪問している

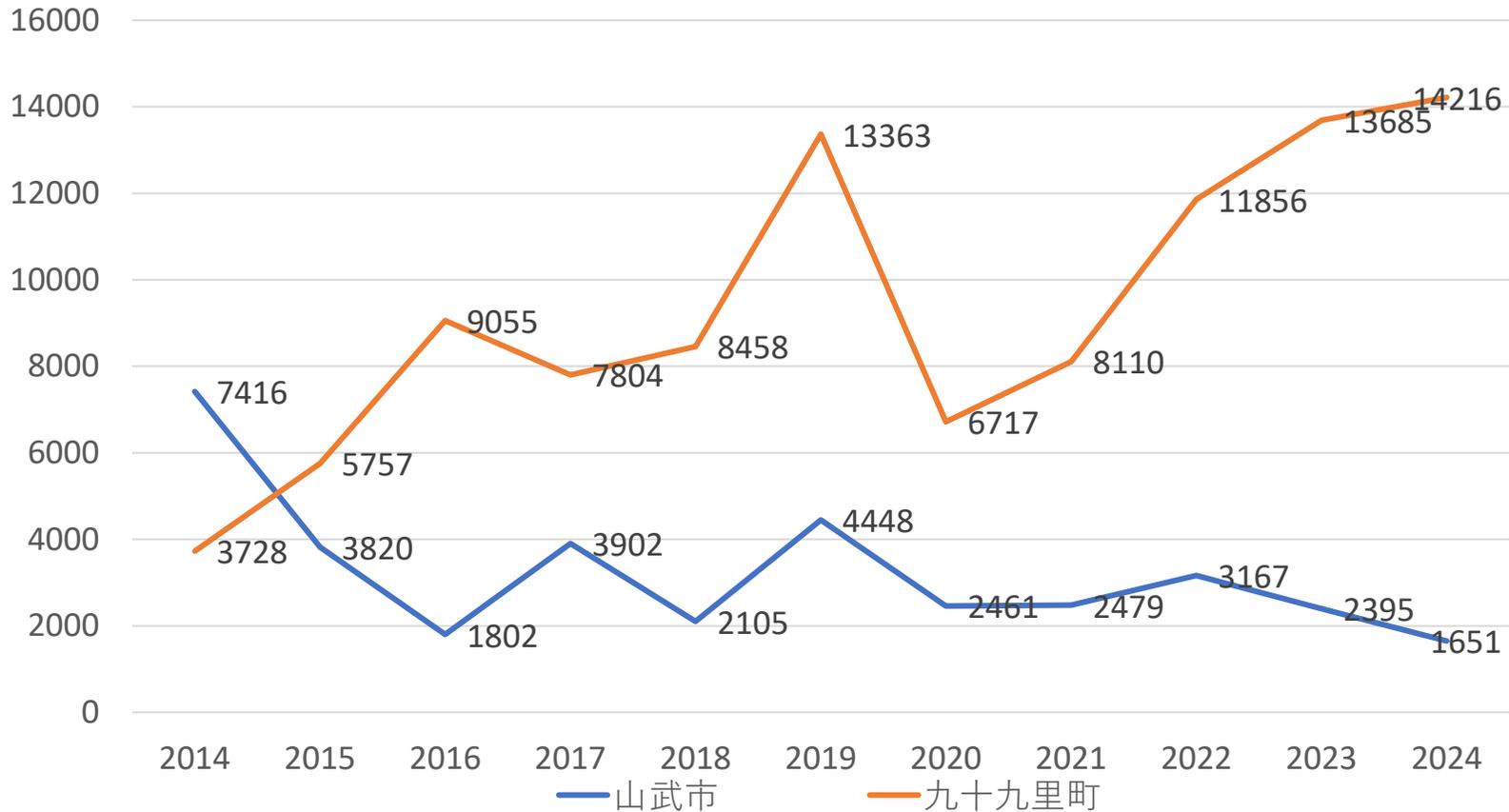
⑩山武市の外国人数

直近、アジア圏を中心とした外国人数は増加傾向にある。



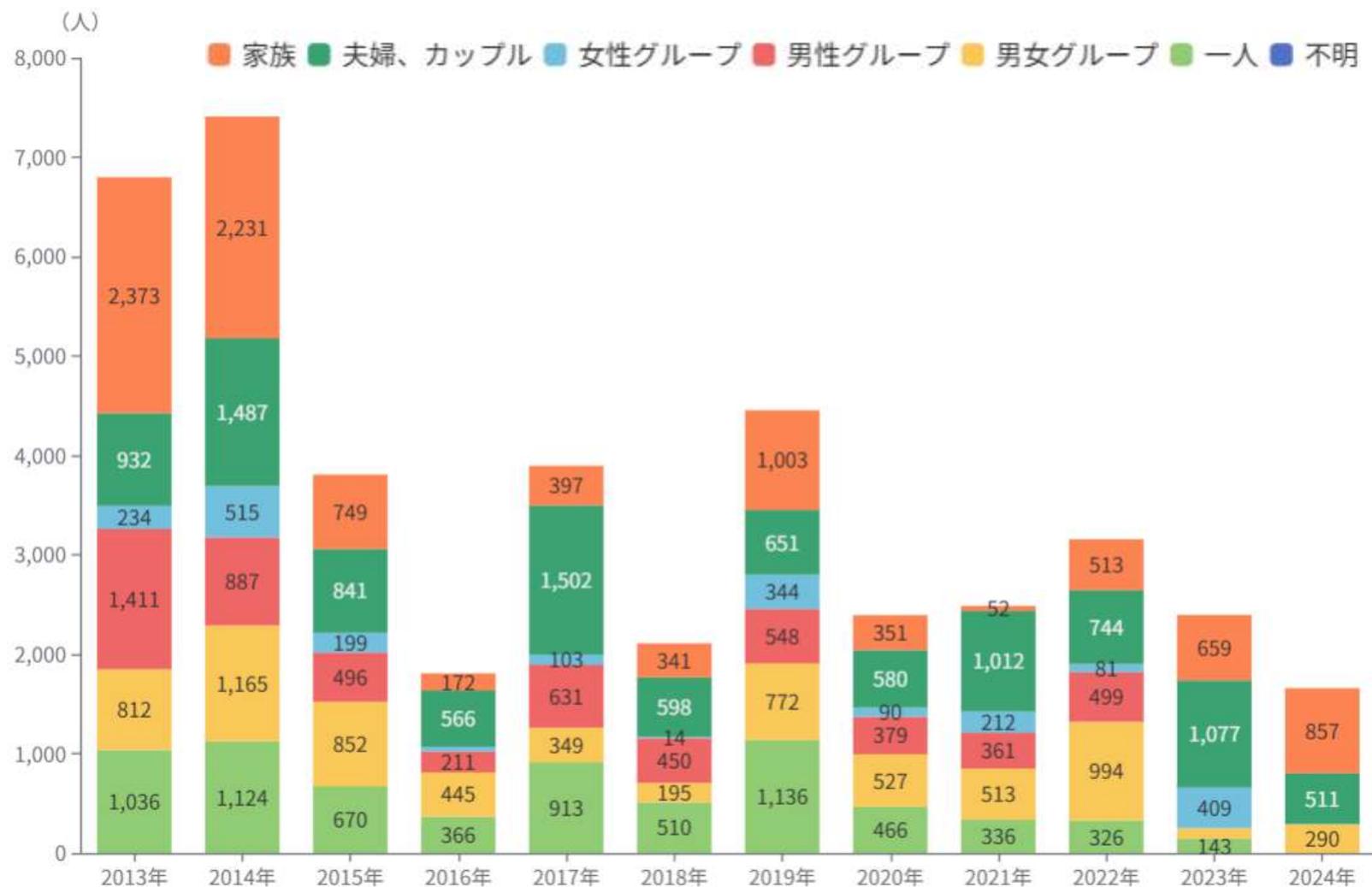
⑪ 山武市宿泊者数の推移

宿泊人数で見ると、10年前に対して半減している。一方、隣接する九十九里町では、コロナ後に顕著な回復・増加がみられる。10年前は山武市の方が多かったが、現在は山武市の9倍弱。



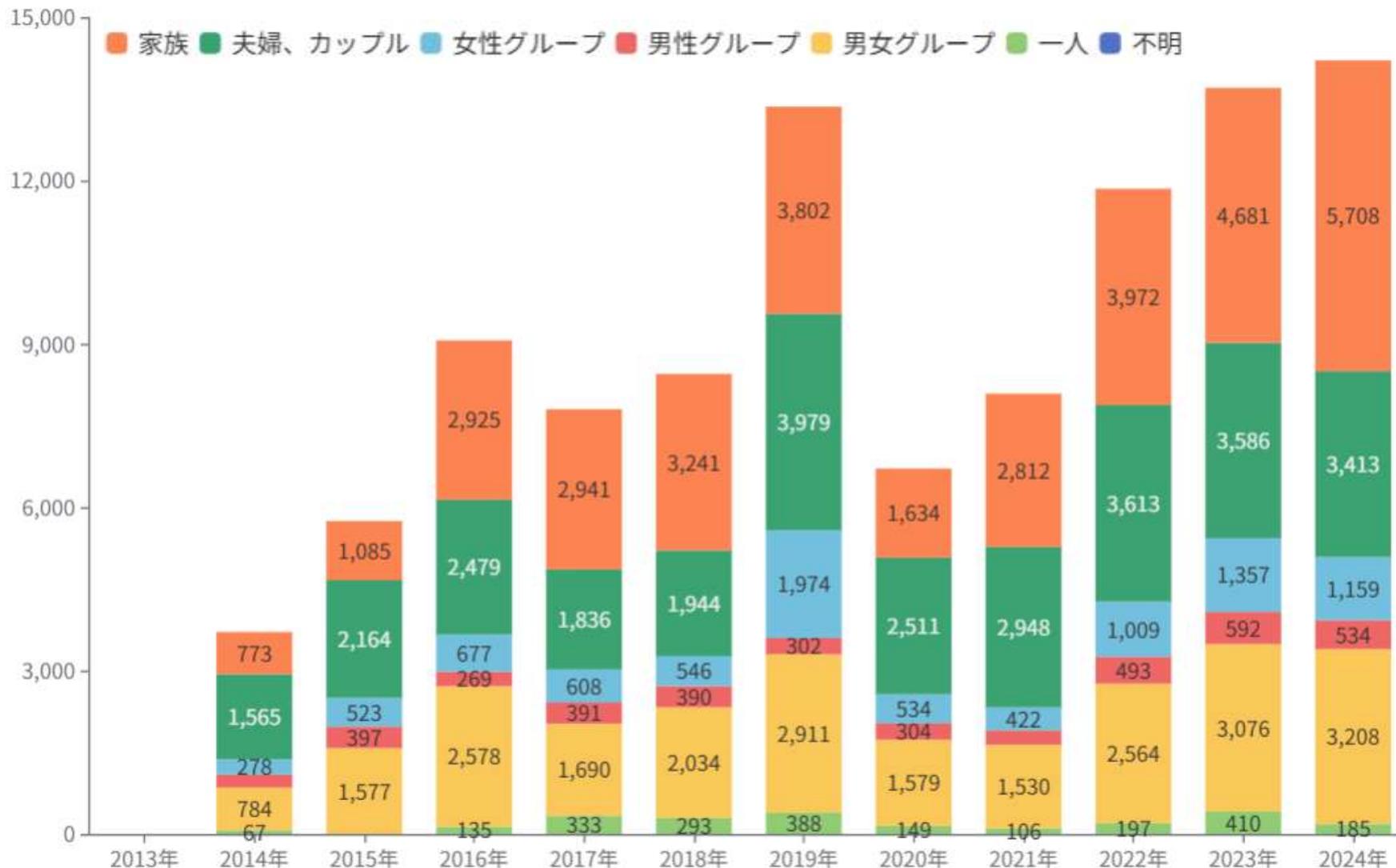
⑫山武市宿泊者数の推移

家族連れ、男性グループ、一人 等、幅広い層で減少している。



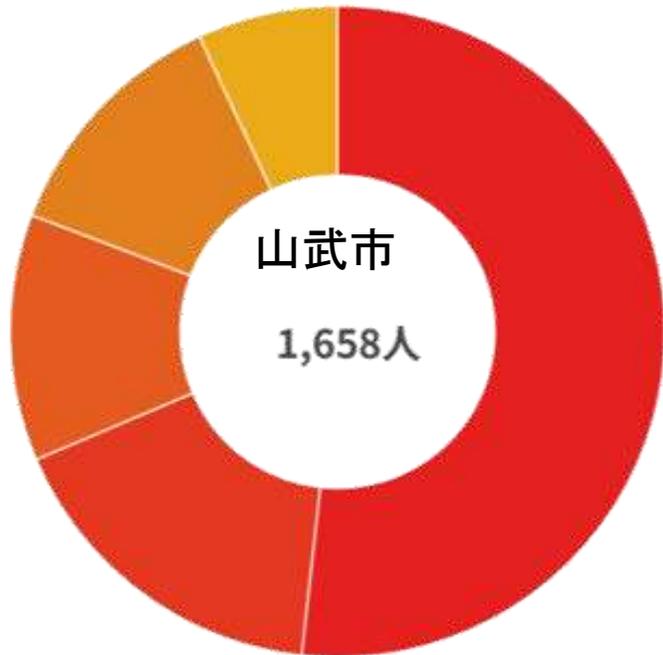
⑬比較：九十九里町 宿泊者数の推移

九十九里町では、家族連れ・夫婦（カップル）・男女グループを中心に増加している。
要員を調査し、山武市の宿泊者を増やす施策に反映すべきである。

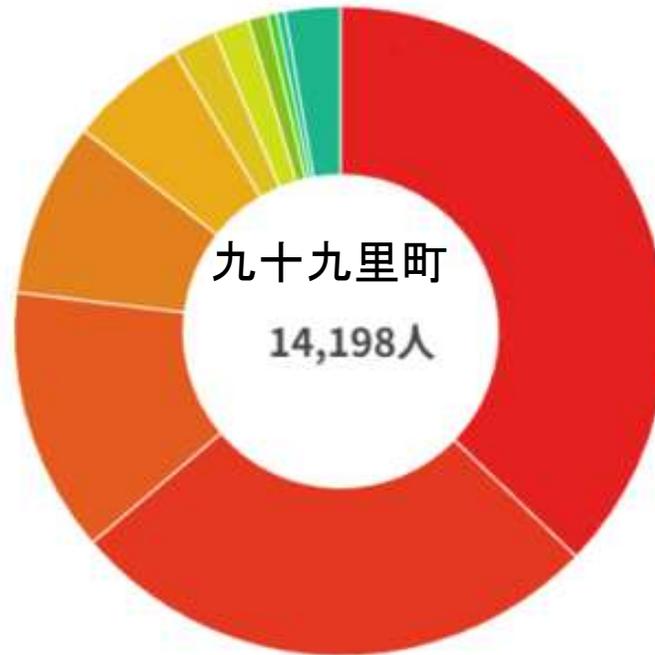


⑭ 山武市宿泊者数の推移（居住地域別）

両地区とも、千葉県からの宿泊が最多だが、山武市では千葉県民が過半数を占めるのに対し、九十九里町では、関東広域からの宿泊者も多い。



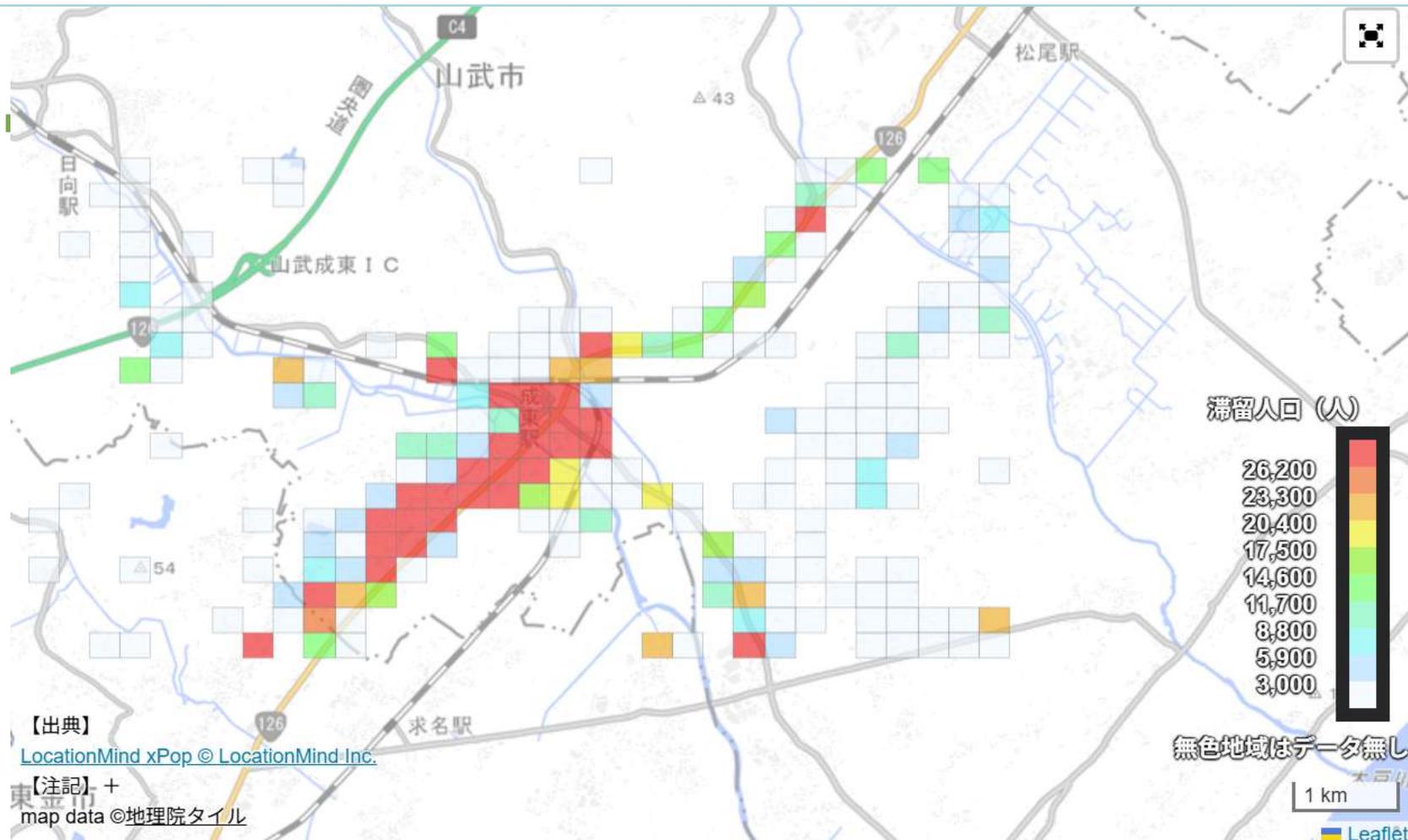
- 1位 千葉県 858人 (51.75%)
- 2位 埼玉県 279人 (16.83%)
- 3位 東京都 203人 (12.24%)
- 4位 神奈川県 203人 (12.24%)
- 5位 茨城県 115人 (6.94%)
- その他 0人 (0.00%)



- 1位 千葉県 5,279人 (37.18%)
- 2位 東京都 3,770人 (26.55%)
- 3位 埼玉県 1,871人 (13.18%)
- 4位 神奈川県 1,234人 (8.69%)
- 5位 茨城県 837人 (5.90%)
- 6位 栃木県 308人 (2.17%)
- 7位 群馬県 250人 (1.76%)
- 8位 福島県 137人 (0.96%)
- 9位 静岡県 65人 (0.46%)
- 10位 山梨県 57人 (0.40%)
- その他 390人 (2.75%)

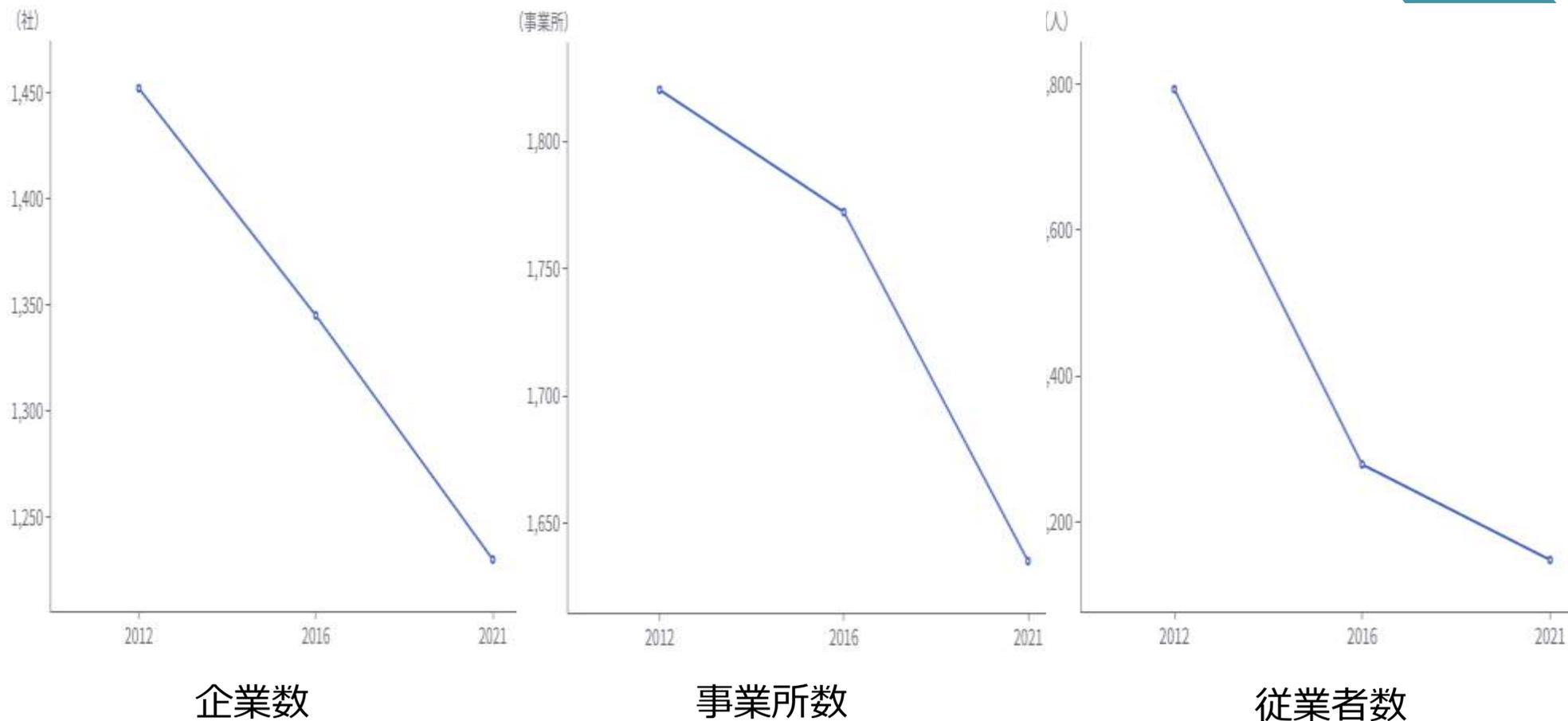
⑮ 人口集積地(2024年)

成東地区の国道沿線並びに主要道路沿いに人口が集積している。



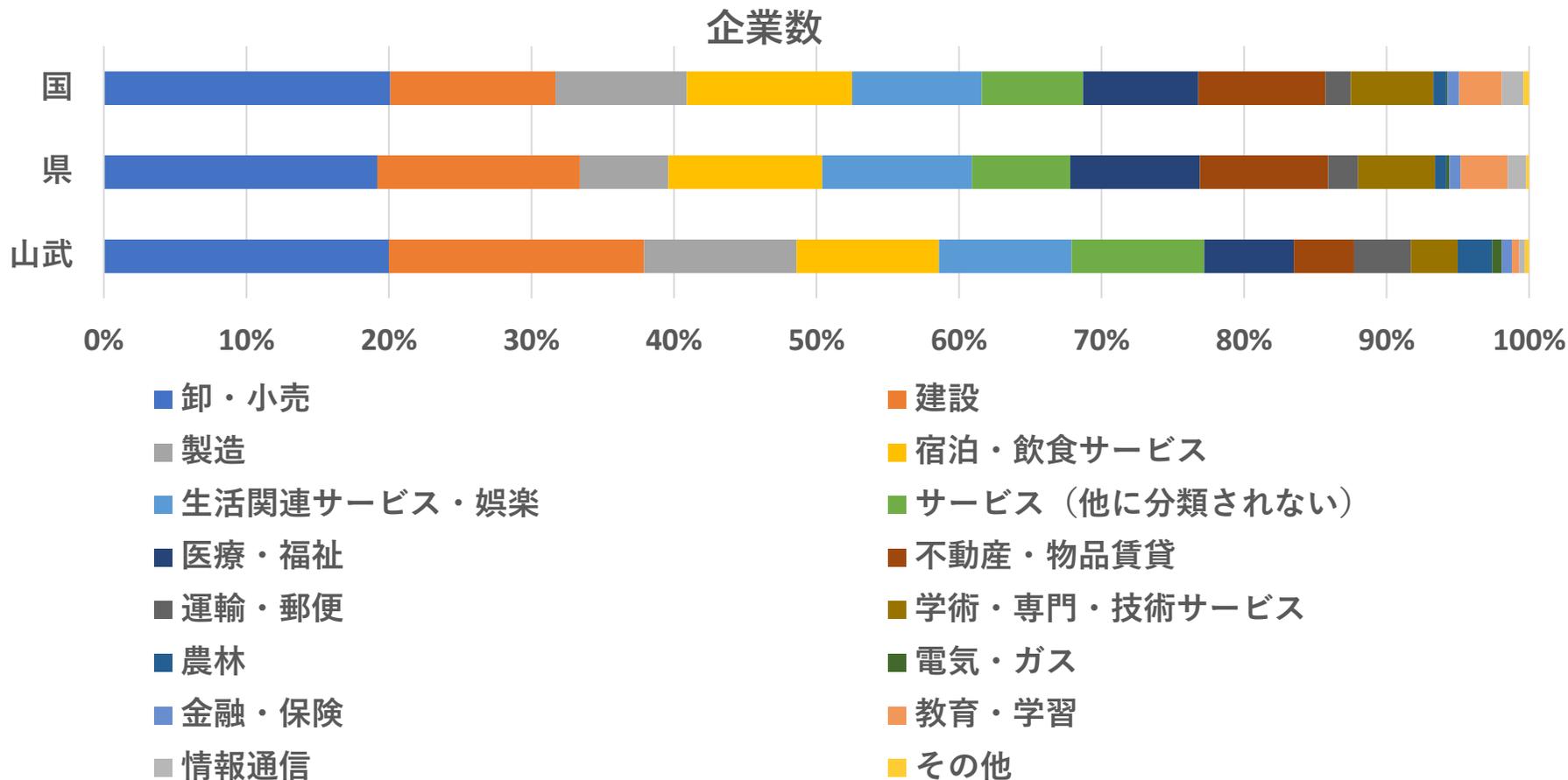
⑩ 企業数・事業所数・従業者数の推移

企業数、事業所数、従業者数とも、低下傾向である。



⑰ 産業大分類別に見た企業単位の構成比（企業数）

県、国に比べて、建設業の企業数比率が高い。

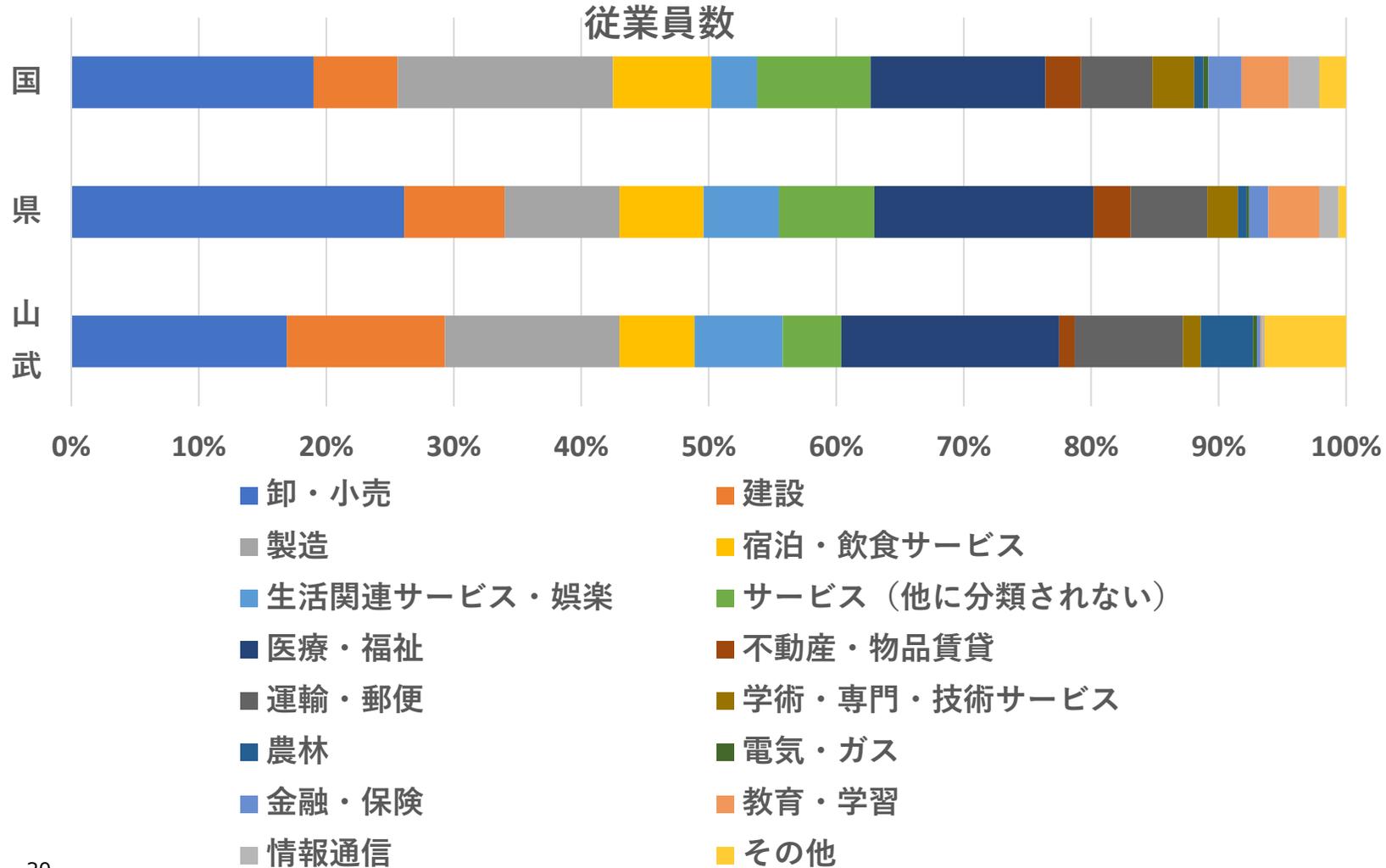


【出典】

総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」

⑱ 産業大分類別に見た企業単位の構成比（従業員数）

県、国に比べて、建設業に従事する人の比率が高い。

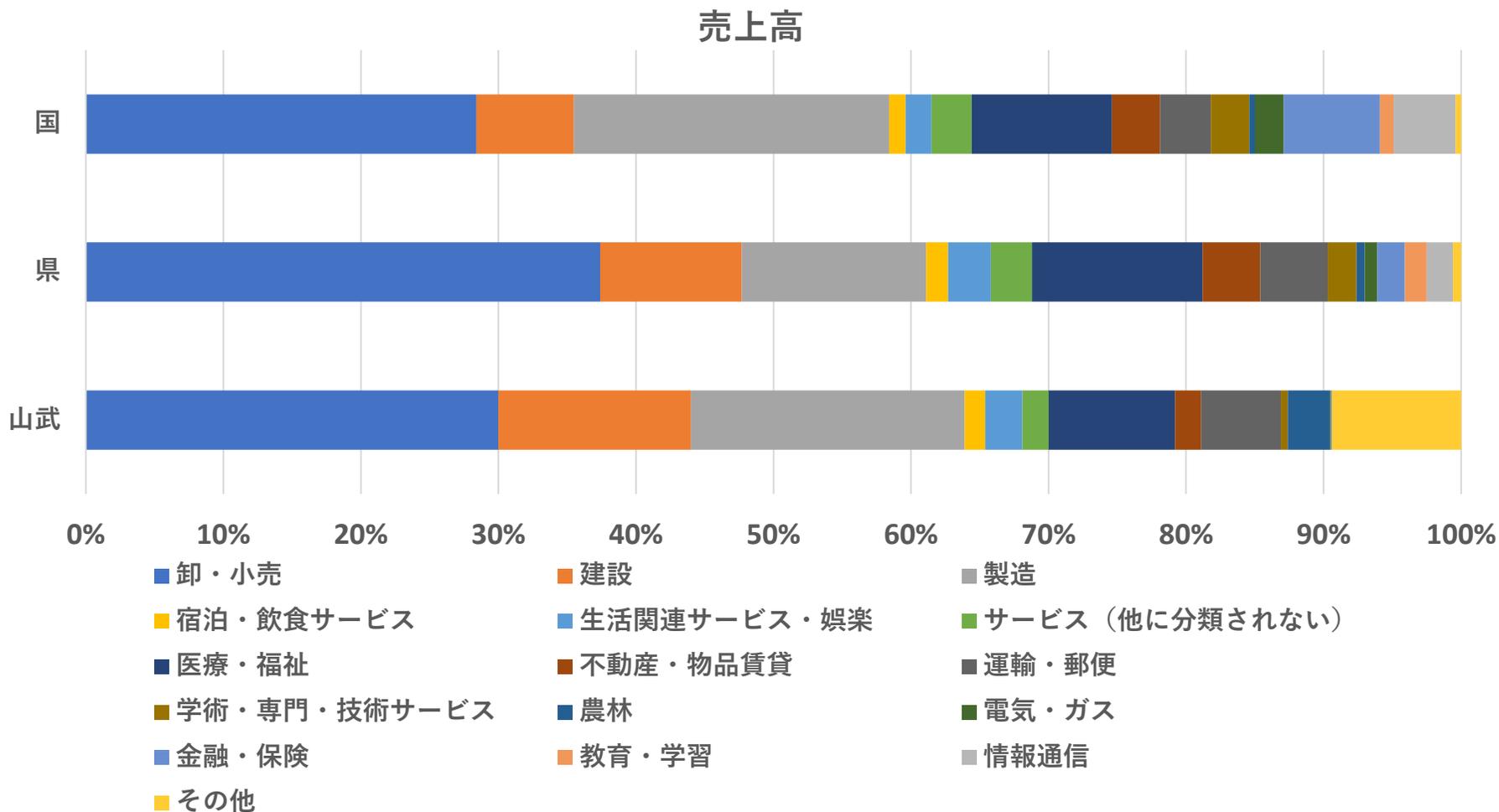


【出典】

総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」

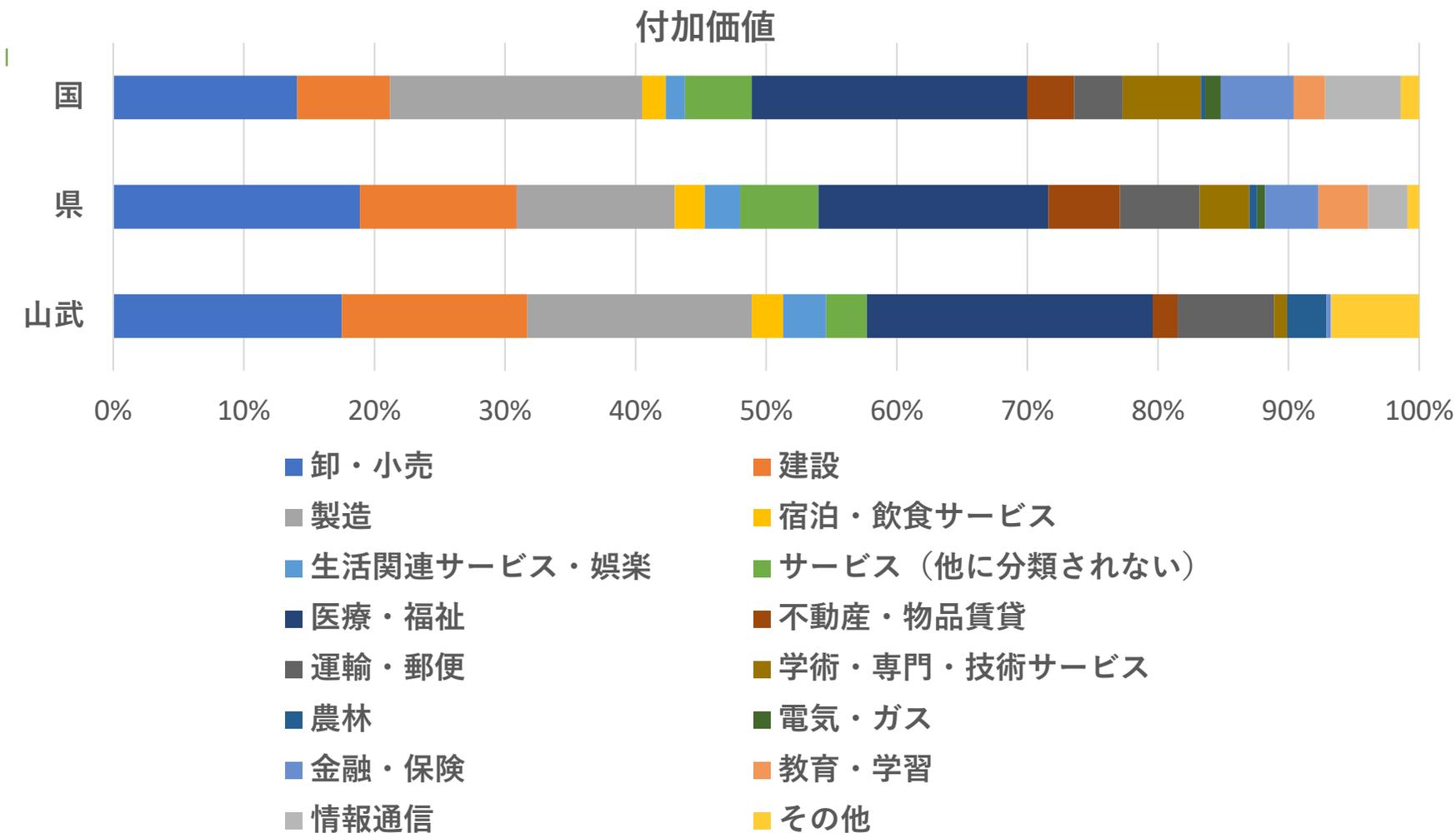
⑱ 産業大分類別に見た企業単位の構成比（売上高）

県、国に比べて、建設業の売上比率が高い。



⑳ 産業大分類別に見た企業単位の構成比（付加価値）

県、国に比べて、建設業の占める割合が高い。



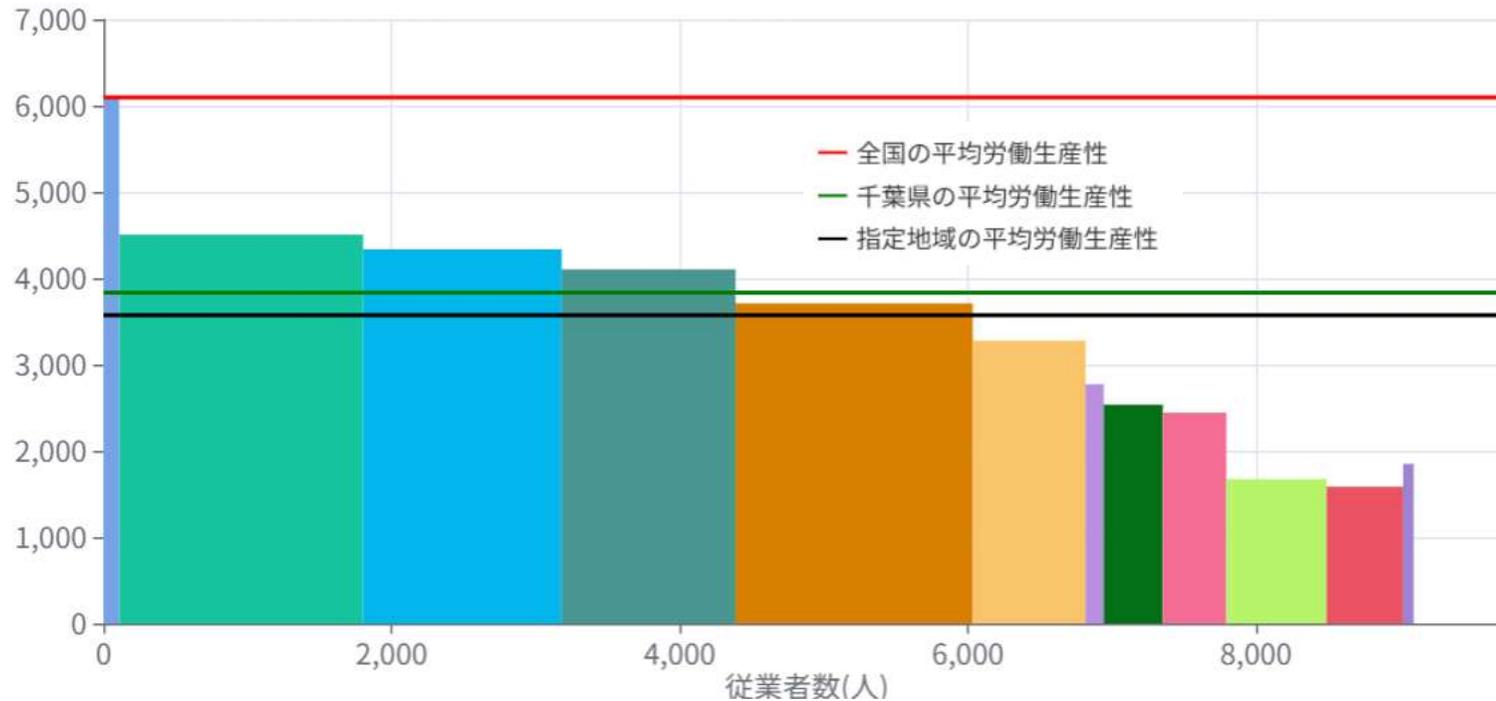
【出典】

総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」

②1 労働生産性（付加価値額／人数）

平均の労働生産性は、全国に比べて低いが、県の平均値とほぼ同等。

労働生産性(千円/人)



● 不動産業, 物品賃貸業

● 医療, 福祉

● 製造業

● 建設業

● 卸売業, 小売業

● 運輸業, 郵便業

● 学術研究, 専門・技術サービス業

● 農林漁業

● サービス業 (他に分類されないもの)

● 生活関連サービス業 娯楽業

● 宿泊業, 飲食サービス業

● その他

【出典】

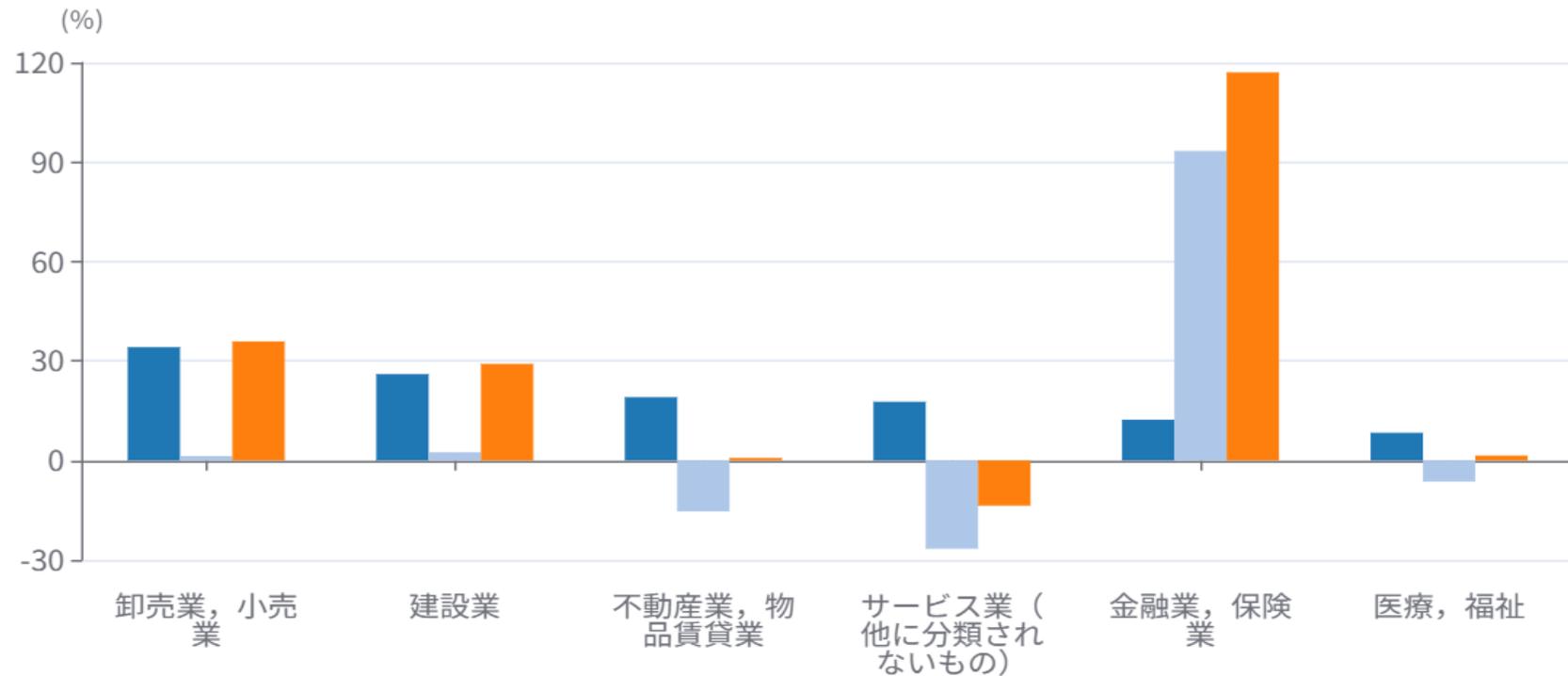
総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査（産業横断調査）」

②② 産業大分類別に見た推移（その1）

卸、建設、不動産、サービス、金融・保険、医療・福祉とも、生産性は増加。。
金融・保険は、従業員数ならびに付加価値額の伸びが大きい。

2016年 → 2021年

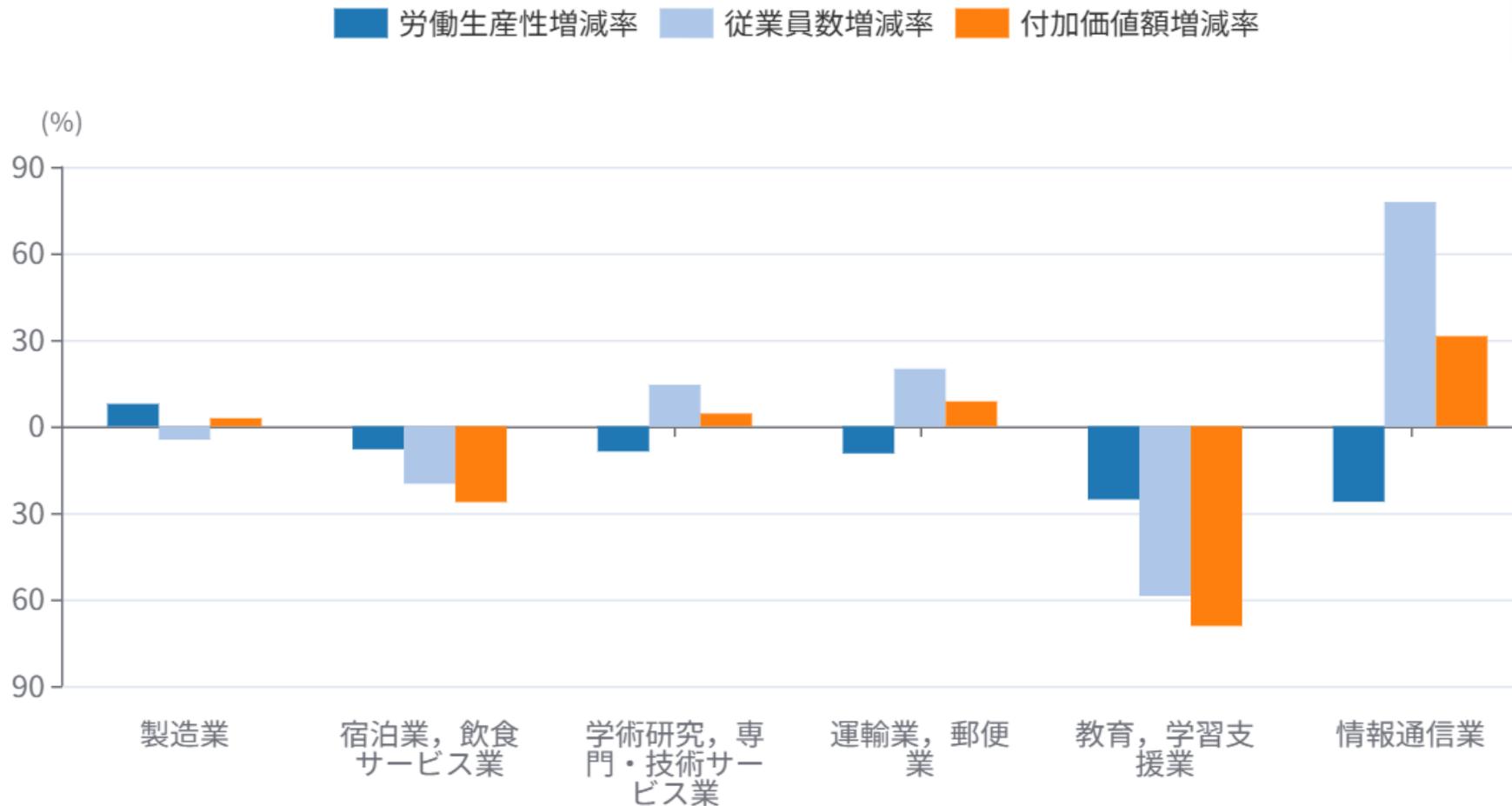
■ 労働生産性増減率 ■ 従業員数増減率 ■ 付加価値額増減率



⑳ 産業大分類別に見た推移（その2）

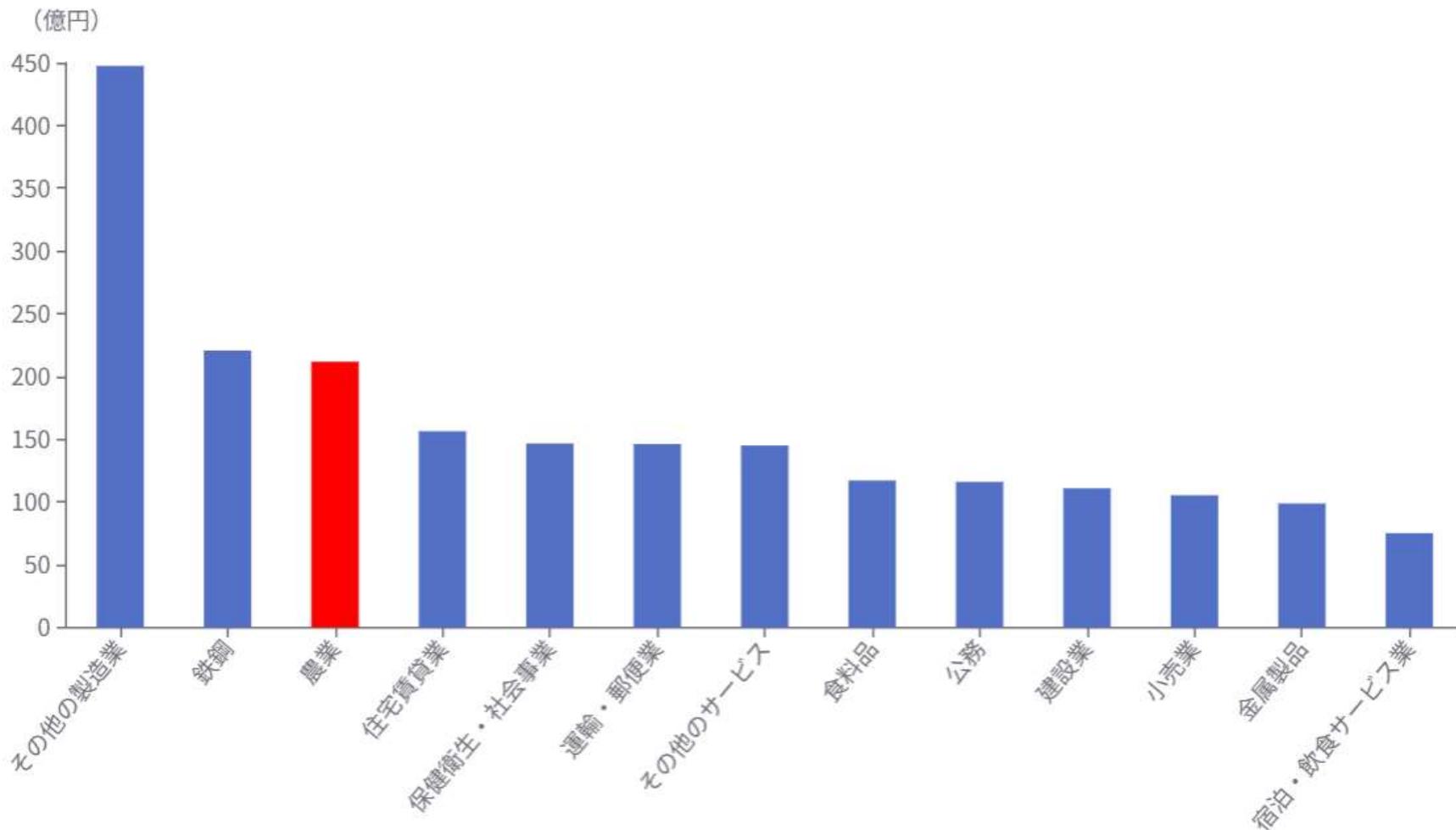
製造業は停滞し、宿泊・飲食ならびに教育・学習支援は衰退。
情報通信は従業員数ならびに付加価値額は増加。

2016年 → 2021年



②④ 生産額(2018年)

鉄鋼関係が多いが、農業の生産額も第三位であり、比較的高いレベルにある。
農産物を活用した製品等の可能性が考えられる。



②5 地域経済循環マップ

山武市の産業の中で大部分を占めているのは第三次産業であり、サービス業や不動産、卸売・小売業が多くを占めている。所得の分配は、雇用所得者は山武市外から所得を得ている人が27%を占めており、その他所得（企業所得）もともに地域外からの流入がある。一方、所得からの支出においては1839億円の所得からの支出のうち、1328億円の地域内の住民・企業が支出した金額は、民間投額、その他の支出において地域外へ流出してしまっていることがわかる。

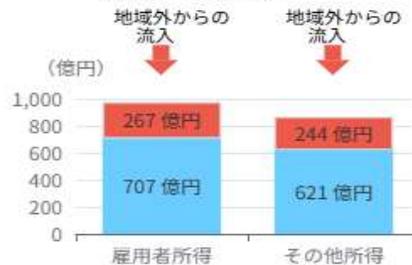
地域経済循環率

72.2%

所得への分配

1,328

分配（所得）

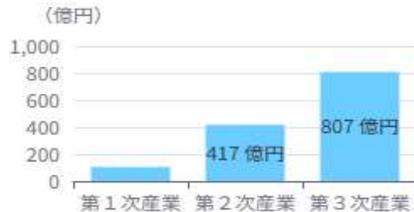


詳細を見る

所得からの支出

1,839

生産（付加価値額）



詳細を見る

支出による
生産への還流

1,328

支出



詳細を見る